

2023年3月15日

各 位

西日本フィナンシャルホールディングス

QB 第二号ファンド 「株式会社 Power Diamond Systems」への出資について

当社のグループ会社である NCB ベンチャーキャピタル（代表取締役 井上 一成）は、本日、「QB 第二号ファンド『株式会社 Power Diamond Systems』への出資について」を公表しましたので、お知らせします。

詳細は、別紙をご参照ください。

以 上

2023年3月15日

QB 第二号ファンド 「株式会社 Power Diamond Systems」への出資について

NCB ベンチャーキャピタル（代表取締役 井上 一成）は、QB キャピタル合同会社（代表社員 坂本 剛、本藤 孝、以下「QB キャピタル」）と共同で運営する、QB 第二号ファンド（以下「本ファンド」）において、「株式会社 Power Diamond Systems」（代表取締役 藤嶋 辰也、以下「当社」）に出資しましたので、お知らせします。

NCB ベンチャーキャピタルは、地域金融機関として、本ファンドを通じて積極的な創業支援を行い、地域産業の発展や雇用の創出に貢献してまいります。

記

1. 対象企業の概要

会 社 名	株式会社 Power Diamond Systems
本 社 住 所	東京都新宿区西早稲田 1-22-3
代 表 者	代表取締役 藤嶋 辰也
設 立	2022年8月
事 業 内 容	ダイヤモンド半導体※1 素子、集積回路等の電子部品およびそれらを構成する材料の研究、開発、設計、製造および販売 他

※1 ダイヤモンド半導体とは、人工ダイヤモンドを使用して性能を向上させた次世代の半導体です。

2. 対象企業の特長

- 当社は、電気自動車などのパワーエレクトロニクス※2分野において次世代の半導体として期待されるダイヤモンド半導体デバイスの研究・開発を手掛ける早稲田大学発のスタートアップ企業で、パワーデバイス※3 や高周波・高出力デバイス※4 を用いた新たなパワーインバータ※5などのシステムの事業化を目指しています。

※2 パワーエレクトロニクスとは、電子用半導体素子を用いた電力変換と制御を中心とした応用システム全般の技術のことです。

※3 パワーデバイスとは、高電流・高電圧を扱う電力制御用の半導体素子です。

※4 高周波・高出力デバイスとは、レーダーや無線通信システムに使用される半導体素子です。

※5 パワーインバータとは、直流電源を商用電源のような一定の周波数と電圧に変換する装置のことです。

- 当社は、ダイヤモンド半導体デバイスの社会実装を通じて、持続可能なエネルギー社会の実現と日本の半導体産業の発展を目指しており、今後の事業拡大が期待されます。

以 上

本件に関するお問い合わせ先
NCB ベンチャーキャピタル TEL092-731-8010
担当 仲尾・原田

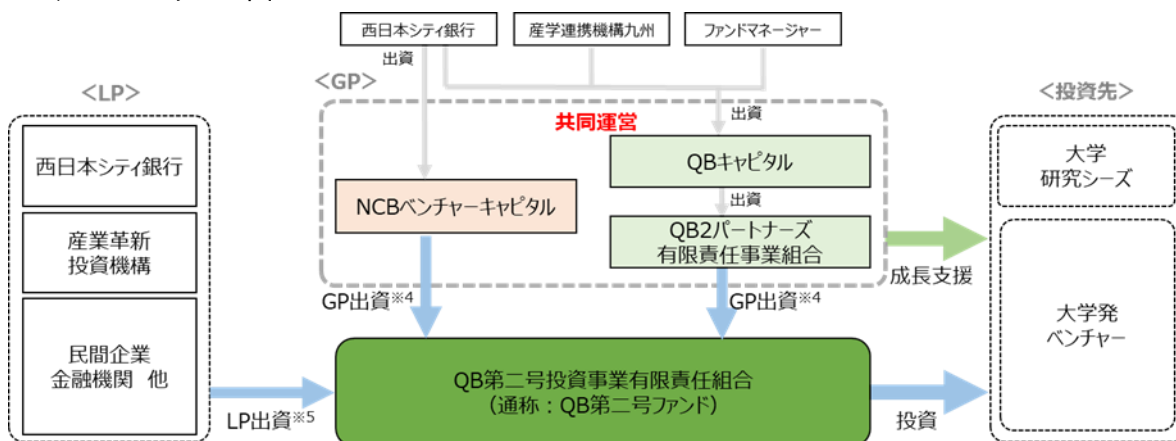
『QB 第二号ファンドについて』

1. 本ファンドの概要

名 称	QB 第二号投資事業有限責任組合（通称：QB 第二号ファンド）
ファンド総額	約 70 億円
無限責任組員（GP※2）	QB2 パートナーズ有限責任事業組合※1（QB キャピタル） 株式会社 NCB ベンチャーキャピタル
有限責任組員（LP※3）	株式会社西日本シティ銀行、株式会社産業革新投資機構 民間企業、金融機関 他
設 立 日	2021 年 4 月 30 日（存続期間 10 年）

- ※1 QB2 パートナーズ有限責任事業組合：本ファンドを運営するために QB キャピタル等が設立した組合
- ※2 GP（General Partner）：ファンドの運用主体となる無限責任組員
- ※3 LP（Limited Partner）：ファンドの出資者となる有限責任組員

2. ファンドスキーム図



- ※4 GP 出資：ファンドの運用主体となる無限責任組員が約束する出資金額
- ※5 LP 出資：ファンドの出資者となる有限責任組員が約束する出資金額

3. 運営会社の概要

商 号	株式会社 NCB ベンチャーキャピタル
所 在 地	福岡県福岡市中央区天神 2 丁目 5 番 28 号 天神西通りセンタービル 8 階
事 業 内 容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
株 主	株式会社西日本シティ銀行（100%）
代 表 者	井上 一成

商 号	QB キャピタル合同会社
所 在 地	福岡市早良区百道浜 2-1-22 SRP センタービル
事 業 内 容	投資事業有限責任組合財産の運用および管理
出 資 者	株式会社産学連携機構九州 株式会社西日本シティ銀行 他
代 表 社 員	坂本 剛、本藤 孝

以 上